

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人そくしん そくしん河南（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 28日 ～ 2025年 2月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21世帯	(回答者数)	16世帯
○従業者評価実施期間	2025年 1月 13日 ～ 2025年 2月 3日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎週決まった曜日に、ホームページ（ https://ds.npo-sokushin.org/ ）で活動報告や研修で行った内容などを配信している。	たくさんの写真を用いたり、読みやすい体裁にすることで、見やすい記事になるように努めている。決まった曜日に更新することで、読者が楽しみにしやすいようにしている。紙の配布物にはブログにアクセスできるQRコードを入れたり、LINE officialのメニューからワンタップでアクセスできるようにプログラムしている。	内容については申し分ないものの、毎回更新したことをお知らせしているわけではないので、更新した際にお知らせすることで、活動内容をより知っていただきやすくなる。
2	家族や地域の方が参加できるようなイベントや、多彩な外出活動、食育などのプログラムを豊富に提供できるように心がけている。	保護者やきょうだい、地域の方にご参加していただきやすいイベントとなるように計画している。外出活動や食育では、子どもたちが参加しやすいメニューや、好評だったものを取り入れている。毎回固定化されないようにも工夫している。	近隣で開かれているイベントに精通し積極的に参加できるよう取り組み始めている。
3	子どもの状況に合わせて支援が行えるよう、頻繁にミーティングを開き、意識の共有や注意する点、特に支援する必要のあることなどについて、積極的に意見を交わしている。	20代から60代のスタッフが在籍しているので、多彩な意見を出すことができています。アイデアが出た際は、最初から否定するのではなく、やってみてからブラッシュアップする、という方針で行っている。	他の店舗の取り組みで良かったことなどを共有し、良い取り組みになるようにしていこうと計画している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別のスペースが限られているため、落ち着けるスペースが少ない。	構造上、広いワンフロアが面積を占めているため、個別のスペースを作ることができていない。	現在ある個別のスペースを友好的に用いることや、事務所のスペースを個別のスペースとして用いることなどが検討できるかもしれない。
2	児童クラブや児童館との交流や、地域のほかの子どもと活動する機会がない。	以前はあったが、感染症対策のために取り組めていない。	開かれている児童クラブがあるため、積極的に参加できるように、外出イベントに組み込むことができる。
3	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	義務化されていないため、実施していません。またこの取り組みを行うにはかなりの費用や労力を要するため後回しになっています。	正式な手順は踏めなくても、他のプロフェッショナルな第三者を施設に招いて評価及びアドバイスを受けることができるかもしれない。